

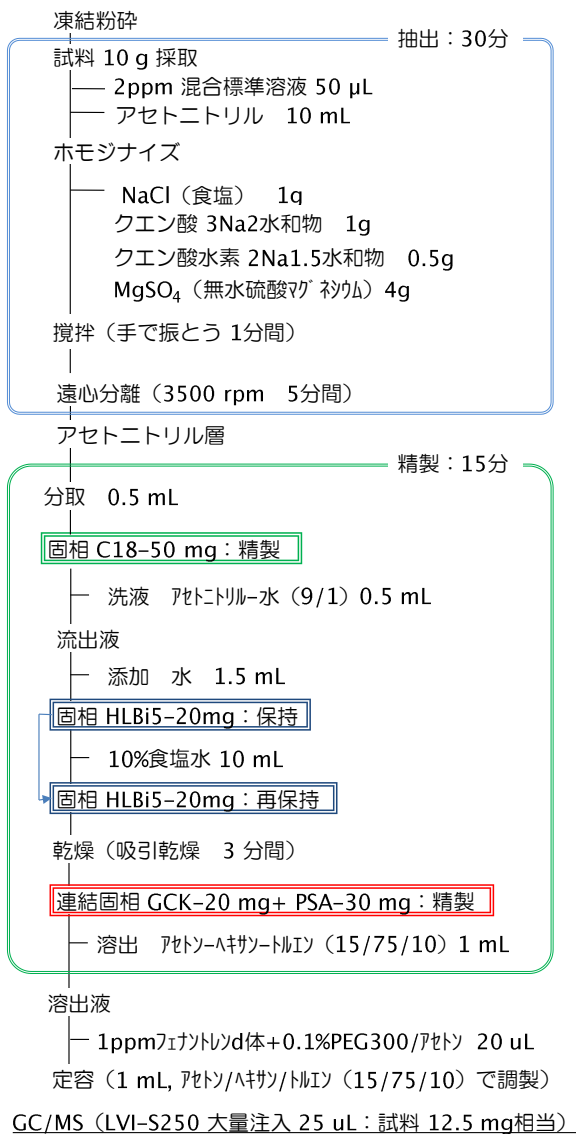


Manual
STQ Method

オレンジ

STQ-GC-B法 (試験管ラック使用)

前処理フロー



実験方法

試験管ラックを用いた添加回収試験 (GC-B法)

- 粉碎方法 予冷式ドライアイス凍結粉碎法
- 添加濃度 (試料中)：10ppb
- 最終バイアル中濃度：5ppb
- 標準溶液：
 - PL2005農薬GC/MS MIX - I, II, III, IV, V, VI, 7
 - *いずれも林純薬工業製
- 検量線：
 - PEG共注入標準溶液、絶対検量線 (直線)
 - 1点：5ppb
 - 20ppbメタノール+20ppmPEG +混合標準溶液 (アセトン+メタノール)
 - *メタノールは装置の感度評価の目安として使用。
- 測定条件：
 - 使用機器：Agilent 7890B/ 7000C
 - PTV条件：LVI-S250 (アイスティサイエンス) 70°C (0.3min) → 120°C/min → 240°C → 50°C/min → 290°C (45min)
 - 注入量：25 μ L
 - カラム：VF-5ms 0.25 mm I.D. × 30 m df:0.25 μ m
 - GC昇温条件：60°C (4min) → 25°C/min → 150°C → 3°C/min → 200°C → 8°C/min → 310°C (8min)
 - 注入モード：Solvent Vent Mode
 - ベント流量：150 mL/min
 - ベント圧力：70 kPa
 - ベント終了時間：0.27 min
 - パージ流量：50 mL/min
 - パージ時間：4 min
 - ガスセーブ流量：20 mL/min
 - ガスセーブ時間：6 min
 - イオン源温度：280°C
 - インターフェース温度：290°C
 - MS条件：MRM

Sample



Information

水分：88.7%
脂質：0.1%
脂肪酸：0.0%
タンパク質：1.0%

分析部位：果実全体
(果皮含む)

写真



左) C18-50 右) HLBi5-20+GCK-20+PSA-30

AiSTI SCIENCE

Product

LVI-S250
試験管ラック
Smart-SPE C18-50
Smart-SPE HLBi5-20
Smart-SPE GCK-20
Smart-SPE PSA-30

株式会社アイスティサイエンス

〒640-8341
和歌山市黒田120-6 アソト黒田2F
TEL. 073-475-0033
FAX. 073-497-5011

www.aisti.co.jp

